



氏名 廣瀬 強志

フリガナ ヒロセ ツヨシ

勤務先名 益田地域医療センター医師会病院

協会、士会役員歴・立候補趣旨

(協会・県士会役員歴)

2013年度～2014年度 島根県理学療法士会 教育部部長
2015年度～2021年度 島根県理学療法士会 理事
2019年度～2021年度 島根県理学療法士会 ブロック部長

(理事立候補の趣旨)

2019年4月に医療従事者の需給に関する検討会で、厚生労働省は、「理学療法士・作業療法士の供給数は、現時点で需要数を上回っており、2040年頃には供給数が約1.5倍となる」と、需給推計の案を提示しました。また、療法士養成の質の低下を指摘する意見も上がっています。

この事は、今後も私達が働き続けていくためには、職域の拡大や質の向上が必要であることを示唆していると考えます。実際に、島根県理学療法士会では、それらを達成するために、組織の体制や活動、各機関・団体との連携を強化していくことに取り組んでいる状況です。

私は、1996年に島根県理学療法士会に入会し、2013年からは役員として携わらせていただき、体制構築や連携強化に関して、以下のような経験をさせていただきました。

- ・東北への災害派遣や災害医療研修参加、災害対策委員など、災害医療への関わり
- ・指定管理者中央研修会への派遣など、県内各施設の連携体制作りの取り組み
- ・地域リハコーディネーター養成研修会への派遣、地域包括ケア市町村コーディネーター、益田市の地域ケア会議の委員と全体アドバイザー、介護予防事業など、地域の連携体制作りの取り組み

今後、島根県理学療法士が新しい体制で歩いていくにあたり、今までの経験を活かし、会員の方々や地域全体から必要とされる島根県理学療法士会となるために努力したいと考え、立候補しました。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。